

一般社団法人 日本小児血液・がん学会  
第62回(令和3年度第4回)理事会議事録

日時:令和3年11月5日(金) 15:00~17:00

開催:web会議

東京都文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバン 4階

出席者:大賀 正一(理事長)、米田 光宏、滝田 順子(以上副理事長)、小川 千登世、  
高橋 義行、奥山 宏臣、湊本 康史、菱木 知郎、藤 浩、滝 智彦、盛武 浩、  
松本 公一、井上 健、康 勝好、西川 亮、塩飽 仁、天野 功二(以上理事)  
檜山 英三(以上監事)  
井上 雅美(第63回学術集会会長)、真部 淳(第65回学術集会会長)  
足立 壮一(JCCG理事長)

欠席者:多賀 崇、越永 従道(第64回学術集会会長)

議長:大賀理事長

冒頭に、本日の理事出席者数は18名中17名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、以下の議案について逐次審議に入った。

## I. 前回理事会議事録(案)の確認

議長より、前回議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

## II. 審議事項

### 1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の松本理事より、資料をもとに、現在の会員数の報告とともに入会申請者23名が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。入会申請者のうち非医師3名については、評議員による推薦用紙の提出があった1名については承認、未提出の2名については提出後に承認されることとなった。

### 2. 学術集会長選任の件について

大賀理事長より、2024年開催の第66回学術集会長の選出について、立候補者は京都大学 足立壮一評議員1名であったことが報告され、議場に足立評議員の就任の承認が求められたところ、異議なく承認された。(足立評議員は審議中退席)

### 3. 2022年役員選挙について

大賀理事長より、2022年の役員選挙実施について、11月中旬の選挙公示、2022年2月~3月の理事・監事選挙、理事長選挙の実施について報告がなされ、異議なく承認された。詳細は下記の通り。

#### <選挙管理委員会>

河野嘉文(霧島市立医師会医療センター)  
黒田達夫(慶應義塾大学医学部)  
田中祐吉(神奈川県立こども医療センター)

<今回選出数>

理事	小児科領域理事	4名
	小児外科領域理事	2名
	脳神経外科領域理事	1名
	病理領域理事	1名
	上記以外の臨床系領域理事	1名
監事		2名

※小児外科領域では、前回 3 名の理事が選出された。ただし、2年で半数ずつ交代となるよう任期を調整するため、前回選挙得票数の最下位者は今期退任となる。ただし来期の被選挙権を有する。

なお、欠員が生じている「上記以外の臨床系領域」については、今期は引き続き天野先生に理事としてご在籍いただき、同領域の余谷先生に次回理事会よりオブザーバーとしてご出席いただくこととなった。

4. 小児免疫性血小板減少症診療ガイドラインの学会誌掲載について

疾患委員会の康担当理事より、「小児免疫性血小板減少症診療ガイドライン」の学会誌掲載及び単行本としての出版について報告がなされた。学会誌への投稿に関しては、投稿規定に従い短縮版として掲載すること、単行本の出版については診断と治療社にて進めることが承認された。

5. 各賞の受賞候補者について

学術賞選考委員会の滝田担当理事より、2021年度の各賞受賞者の報告がなされ、異議なく承認された。受賞者は下記の通り。

<学術賞>

檜山 英三	広島大学病院小児外科
富澤 大輔	国立成育医療研究センター 小児がんセンター
笠原 靖史	新潟県立がんセンター新潟病院
渡邊 敦	山梨大学医学部附属病院

<小児がん病理病態研究学術奨励賞>

白井 了太	国立成育医療センター小児がんセンター
-------	--------------------

<大谷賞>

原田 和明	千葉大学大学院医学研究院小児外科学
松井 俊大	国立成育医療研究センター

6. 賞の受賞候補者について

学術賞選考委員会の滝田担当理事より、学術賞・大谷賞の選出についての規約作成について提案がなされた。新たな「学会賞」の制定も含め、年齢や受賞回数の制限、個人や団体での受賞も含め、委員会にて検討し、規約案を理事会に提案することとなった。

#### 7. 日本医学会分科会活動報告ダイジェスト版の日本医学会ホームページ掲載について

社会・広報委員会の高橋理事より、日本医学会ホームページへの日本医学会分科会活動報告ダイジェスト版の掲載について日本医学会より依頼を受けたことが報告され、大賀理事長が対応することが確認された。

#### 8. 20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究実施計画書の業務委託に関する改訂について

学術・調査委員会の藤担当理事より、国立成育医療研究センターと今年度の契約について、登録・集計業務については毎年「覚書」を交わして委託を行っていたが、国立成育医療研究センターからの指摘により、今年度より、契約書・覚書を取り交わし業務を行うこととなったことが報告された。また、特定非営利活動法人 臨床研究支援機構(NPO OSCR)との同業務における業務委託契約書・見積書が提示され、いずれについても異議なく承認された。

#### 9. CLIC 業務委託契約について

教育研修委員会の盛武担当理事より、CLIC の研修会を委託しているアイズプロダクションとの業務委託契約について報告がなされ、異議なく承認された。

#### 10. 2022年2月の理事会日程について

次回理事会開催日について2022年2月4日(金)15:00~17:00にて承認された。なお、同日理事会終了後に、第65回学術集会(真部大会長)の運営企業選定のコンペティションを実施することとなった。

### 報告事項

#### 1. 第63回学術集会について

第63回学術集会 井上会長より、11月25日~27日までのプログラムについて進捗報告がなされた。また、抄録集は学会員へ11月中旬に、運営事務局より発送されることが報告された。

#### 2. 第65回学術集会について

第65回学術集会 真部会長より、2023年9月29日~札幌開催の第65回学術集会について、開催方式については、引き続き検討中であり、第63回、64回大会の実績及び、今後の状況にあわせての決定することが確認された。

#### 3. 利益相反委員会

利益相反委員会の奥山理事より、日本医学会の「COI管理ガイドライン」一部改訂について報告された。また、日本医学会利益相反委員会より、各分科会のCOIマネジメントの現状についてのアンケート調査依頼があり、学会誌編集委員会と利益相反委員会にて対応することが報告された。

#### 4. 論文引用等の授業目的公衆送信「利用報告」について

学術集会プログラム委員会の米田担当理事より、学術集会などでのオンライン開催に伴う論文引用の制限などについて、会員から学術集会プログラム委員会へ進言のあったことが報告された。現在、本学会では

特に制限などは設けておらず、常識の範囲内でと理解しているが、昨今、学会大会などのオンライン開催の増加に伴い、多くの人がアクセスできる「オンデマンド配信」等での論文引用などについては、場合によっては多くの費用が生じるケースもあるため、今後の引用には注意する必要があることが確認された。

## 5. PBC について

学会誌編集委員会の滝田担当理事より、Pediatric Blood & Cancer の Impact factor が 3 を超えたことが報告された。また、例年購読者も増えていること、制作に関しても著者・査読者として日本勢の貢献も大きくなっていることなどが報告された。

## 6. 診療ガイドライン委員会報告

診療ガイドライン委員会の米田担当理事より、下記について報告がなされた。

- 1) 小児白血病・リンパ腫診療ガイドラインおよび小児がん診療ガイドライン改訂作業の進捗 定期的な Web 会議の開催や日本放射線腫瘍学会へ協力要請の承認
- 2) 3件の転載許諾対応
- 3) 先天性骨髄不全診療ガイドラインについての委員会共有と意見の提出

## 7. 保険診療委員会報告

保険診療委員会の小川担当理事より、下記 2 点について報告がなされた。

- 1) 無菌治療室管理料加算の算定実績調査について  
厚生労働省より緊急調査依頼を受けて実施した小児入院医療管理料算定施設における無菌治療室管理料加算の算定実績の結果が報告された。短時間に協力頂きたい施設に御礼が述べられた。
- 2) 開発候補医薬品推薦依頼について  
AMED「治験・臨床試験を機動的かつ円滑に実施するためのサポート機能に関する研究」(猪口雄二、日本医師会副会長)からの依頼で、課題研究である「日本のアンメットメディカルニーズを把握する調査研究」に関連しての開発候補医薬品の推薦依頼であり、学会 HP、メール配信でも周知済みである。

## 8. 「全国がん登録によるデータの学術団体における利活用の円滑化」に関する要望書について

学術・調査委員会の藤担当理事より、厚生労働省研究「全国がん登録の円滑な運用のための検証に関する研究」に際して、「全国がん登録データ」と学会が保有する「がん症例登録データ」などの連携を図るための「全国がん登録によるデータの学術団体における利活用の円滑化」に関する要望書を、他学会と連名で提出したことが報告された。

## 9. 専門医制度委員会研修施設群について

専門医制度委員会の米田担当理事より下記の報告がなされた。

- 1) 2022年度から開始される「小児がん認定外科医試験(教育セミナー含む)」について  
がん治療認定医機構のウェブコンテンツ(33項目)の視聴(がん治療認定医機構と現在交渉中)を要件として試験を実施する。  
コンテンツの利用料金については、新規7000円 更新5000円を個人負担で行う予定である。

## 2) 施設群申請について

- ・2022年4月から認定開始となる専門研修施設の大幅な変更については既に HP・メール配信などでも周知を開始している。
- ・暫定指導医の期間については10年限定と定められている。ただし、2011年認定者の認定期間については、2022年に試験が実施されなかったため、期限が2022年3月までに延長された。なお、2012年認定者については、規程通り2022年3月が認定期限となることが報告された。
- ・申請書類にある「常勤の定義」について、これまで小児科学会に準じた20時間としていたが、過去の本学会理事会で週32時間と定めていたことが判明したため修正を行った。
- ・申請期間は本年12月1日から2022年1月17日まで。2月に審査を行い、その結果を理事会へ提出予定である。

なお、今回は大きな組織変更になるため、全施設への申請提出を求め、チェックを行うものである。

## 10. LCAS 研修会について

長期フォローアップ・移行期医療委員会の松本担当理事より、LCAS の研修会について下記の通り報告された。

- 1)2021年10月2日開催 LCAS 九州研修会を開催し、受講者41名、スタッフ29名(欠席者1名)で開催された。来年度研修会のテキストを、ワーキンググループを立ち上げて作成を進めている。
- 2)2022年3月19日開催の LCAS アドバンスは現在86名より応募があり、全員の受講を認める方針である。
- 3)次回12月25日開催の第3回 LCAS 大阪研修会はこれから募集開始予定である。
- 4)移行期医療「小児期発症 血液・腫瘍疾患患者のための成人医療以降支援ガイド」について、HP 掲載の為、評議員へのパブリックコメントを実施している。
- 5)「小児期発症血液・腫瘍疾患の成人への移行支援に関する基本的姿勢」の総説を本会がん学会誌に投稿予定である。
- 6)JCCG 長期フォローアップ委員会教育ワーキンググループが「復学支援ツール」を作成した。

## 11. 成人小児進行固形がんにおける臓器横断的診療 GL 改訂版について

遺伝性腫瘍委員会の大賀理事より、成人小児進行固形がんにおける臓器横断的診療 GL 改訂版の作成に関するパブリックコメントの実施について報告された。

## 12. 女性医師活躍支援委員会

滝田理事より女性医師活躍支援委員会の活動として、11月26日から開催される学術集会で、特別企画のシンポジウムとして、各方面で活躍されている女性医師による講演会を実施することが報告された。

## 14. 理事長報告

大賀理事長より、下記について報告がなされた。

- 1)日本小児循環器学会より理事長交代について
- 2)ファミリーハウスフォーラム 2021 後援名義使用について
- 3)2021 年度日本医師会医学賞、医学研究奨励賞受賞者決定について

4) 日本小児・思春期・若年成人がん関連学会協議会について

過去に、数種の学会が横断的に連携し活動していた同協議会の活動について提議され、今後の理事会等で本学会の関わり方を含め、慎重に協議することとなった。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和3年11月5日

日本小児血液・がん学会 第62回理事会

理事長 大賀正一 ⑩

監事 檜山英三 ⑩